

乳がんにおける Eribulin 療法について

スケジュール

eribulin(ハラヴェン®) 1.4mg/m² i. v. day1, 8

21 日毎

支持療法として

Day1:注射デキサメタゾン

ガイドライン上の扱い

HER2 陰性 転移 再発 乳がんに対する
二次治療の 1 つ

治療効果

前治療歴のある 進行 再発 乳がん患者に対して
主治医選択治療群と Eribulin を比較した
第III相試験(EMBRACE 試験)
N=762

Eribulin vs 主治医選択治療

OS(全生存期間)中央値 13.1 ヶ月 vs 10.6 ヶ月

副作用%(Grade3 以上)

Eribulin 投与群で 25%以上にみられた有害事象は、
無気力、好中球減少、脱毛症、末梢神経障害、悪心、便秘
重篤な有害事象としては、好中球減少
投与中止に至った有害事象は末梢神経障害

備考

- ・ Eribulin
 - ・ 骨髄抑制：好中球減少 56% 血小板減少 3%。 好中球減少の発現時期中央値 14 日
 - ・ 末梢神経障害 32%：発現時期中央値 23.4 週後